

お祝の言葉

松本市長 菅谷 昭



「スズキ・メソッドで育った子供達250人のピアノ10台のコンサート」が、ザ・ハーモニーホールにおきまして、盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

故片岡ハルコ先生の「弦楽器のように合奏する楽しみを、ピアノでも味わってほしい」との思いから、1986年に松本で始まったこのコンサートは今回で16回目、2年ぶりの開催とお聞きしております。特に本日のコンサートは、海外から17名の皆さんを迎え、総勢250名の生徒の皆さんが交代で演奏されます。

心をひとつにして演奏されるこのコンサートは、10台のピアノがあたかも1台で奏でられていると感じるほど素晴らしいものであり、本日もどうか息のあった素晴らしい演奏が繰り広げられることを願っております。

さて、松本市は市民一人ひとりが健康で、自立して、明るく元気に暮らすことのできる「健康寿命延伸都市」を目指しておりますが、小さな頃から音楽に親しむことは、まさに心身の健康につながるものと考えており、生徒の皆さんの今後さらなるご活躍をご期待しております。

終わりになりますが、才能教育研究会のご発展と、本日お集まりの皆様のご益々のご健勝を心からご祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



(社)才能教育研究会会長 中嶋 頼雄

10台のピアノが共鳴するコンサートの意味

世界に広がるスズキ・メソッドは、一般には幼児のヴァイオリン演奏で知られていますが、実は才能教育研究会の大きな担い手がピアノ部門になってきているのです。

ピアノを弾くことは、いまどこでもできる時代になりましたが、才能教育研究会のピアノ教室は、一般のいわゆるピアノのお稽古とは違って、「どの子も育つ 育て方ひとつ」という鈴木鎮一先生の幼児教育の指針と、「暗譜(暗記)」と「繰り返し」というスズキ・メソッドの方法論に基づいてピアノを学ぶところに大きな意味があるのです。この幼児教育の指針と方法は、単に音楽を通しての教育のみならず、幼児期からの外国語教育、とくに英語の早期教育とも大きなつながりがあるのです。小学校への英語教育の導入もいよいよ2011年度から始まりますので、この点でもスズキ・メソッドがさらに注目されることと思います。

しかも今回のピアノコンサートは、海外から松本に来て加わる17名の生徒さんも含めて、250名が10台のピアノで演奏するという華やかなイベントになりそうですね。本来は独奏楽器であるピアノを10台の華麗なアンサンブルに編成されたのは、才能教育研究会松本支部のピアノ科のリーダーであられた故片岡ハルコ先生の独創的なアイデアによるものと思いますが、この点でも今回のコンサートには大きな意味があるといつてよいでしょう。

どうか皆さん、今日は一日楽しく、頑張っ、立派に弾いてくださいね。

なかじま・みねお

●1936年 松本市生まれ 松本音楽院鈴木策一クラス第1期生

●現在 公立大学法人国際教養大学理事長・学長 社会学博士(東京大学)

●東京外国語大学学長、文部科学省中央教育審議会外国語部会主査などを歴任

24

ラ・カンパネラ
リスト

La Campanella
F. Liszt

1. 田中 愛実
2. 小島 文歌 (16)
3. Edward Burns (19)
4. 百瀬 絵理 (19)
5. 清水 明日 (16)
6. 三好 大地 (20)
7. 矢萩 春菜 (18)
8. 伊藤 慎太郎 (16)
9. 金井 沙織 (12)
10. 久保田 尚代

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

10-Piano Concert に
ご協力くださいました

全ての皆さまに

感謝申し上げます。

ありがとうございました。

2010年4月

♪♪♪♪♪♪

ピアノ提供

カワイピアノ

イラスト

Juri Kataoka

印刷

アサカワ印刷株式会社

プログラム発行

スズキ・メソード 松本支部ピアノ科



片岡 ハルコ

「最初が大切」

人間には五感があります。視覚、聴覚、味覚、臭覚、触覚です。その感性は、大自然から戴いてきたものです。人間がどんなに頑張っても作れるものではありません。人の命、心や魂(性格)、どれをとっても、人間が作ることは出来ません。大自然が与えて下さったものです。

その、すべての人間が公平に与えられた感性を、もっと感謝して大切に取り扱わなくてはいけないのです。神様から戴いて、最初に生まれた時、完全な機能を持った感性は何も知らないのです。その子の住む環境の条件で、まず最初に見たもの、聴いたもの、味わったもの、触れたものをみな吸収していきます。

そしてそれが故郷になるのです。

最初が大切です。途中からではそれを変えることは、とても難しいことです。私達は生まれた親を変えることも、生まれた場所を変えることもできません。

何とかして、生まれてきたすべての子ども達に、良い音を聴かせてやりたいものです。 　　原著「感性と教育」より

かたおか・はるこ 1927年～2004年

●1955年より約50年の間、スズキ・メソッドのピアノ科指導者として、国内外の生徒、及び指導者の養成にあたる。

●1986年にピアノ5台のコンサートを発表、開催。 ●1987年5月～2003年11月まで、14回にわたり『ピアノ10台のコンサート』を行い、子どもたちを指導。



社団法人 才能教育研究会 創始者
鈴木 鎮一

偉大なる遺産

大勢の子供たちがヴァイオリンを学んでいる。
必ずしも演奏家になるのではない。

しかし音楽を通して直接バッハやモーツァルト
が子供を教育してくださっているのです。

あの音楽の中に彼らがまだ生きているのです。

私はモーツァルトを聴いて、本当にモーツァルト
が私の側にいて、話しかけているのを感じる
のです。

音楽は、人類が発明した最も偉大な芸術で
ありましょう。千年を経ても音楽は人間の生命
を生きたままに伝え、人々の上に大きな感
化を与えずにはいないでしょう。バッハやモ
ーツァルトやベートーヴェンのような偉大な作
曲家たちが、これらの幼い子供たちを無意識
の中に、ノーブルな魂や美しい音楽性を育て、
人間形成をしてくださることは何と素晴らしい
ことでしょう。

子供たちが、自分の感覚、能力において、こ
れら偉大な音楽を学んでいく一つの積み重
ねは非常に大事であると思います。

We Support

unicef 



スズキ・メソードで育った 子どもたち250人の ピアノ10台のコンサート

2010年4月25日 日曜日 1回目公演 10:30~12:30 2回目公演 13:30~15:30

ザ・ハーモニーホール

長野県松本市島内 4351

入場料 ¥250 入場料はすべて、財団法人日本ユニセフ協会へ寄付致します。

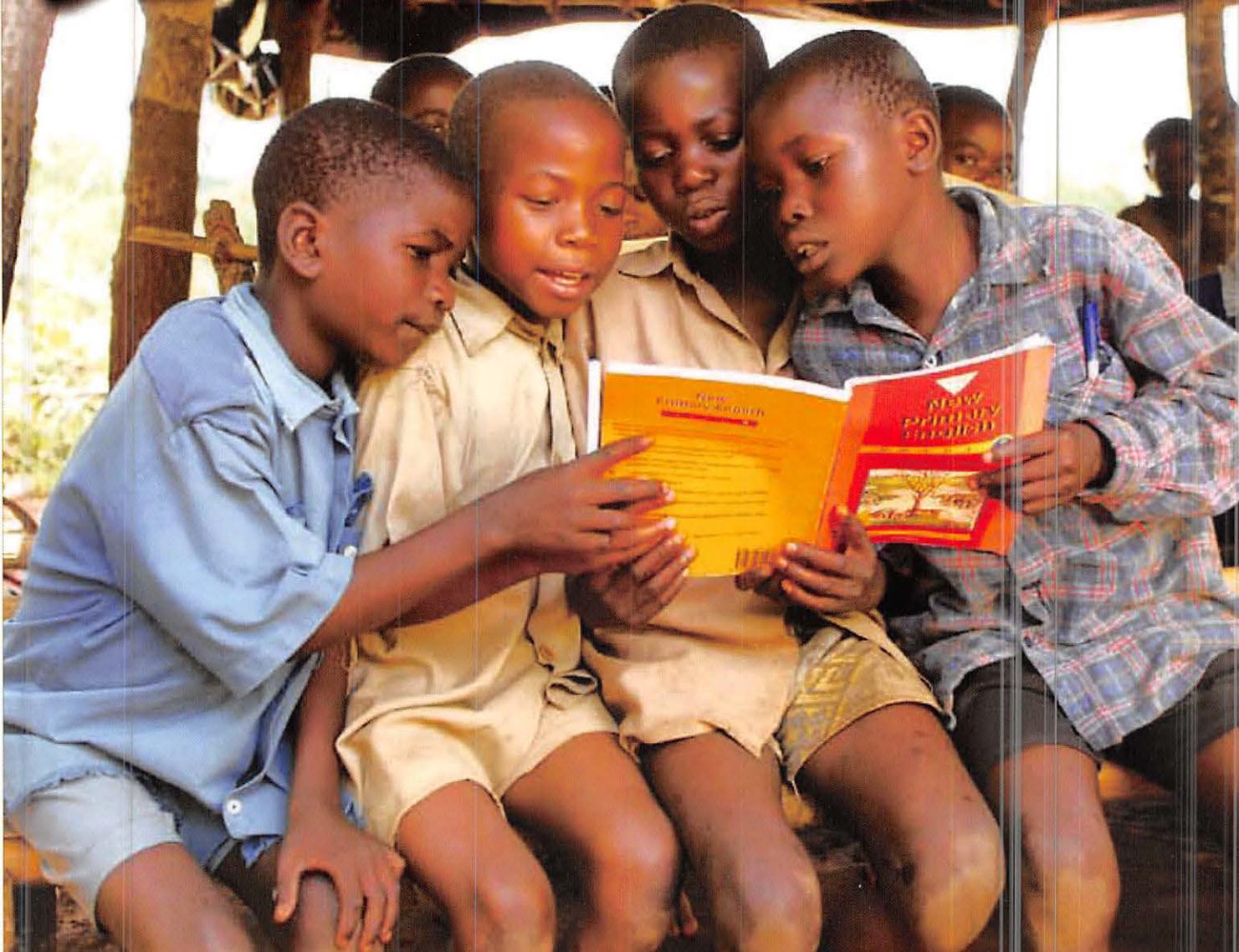
主催 (社)才能教育研究会 松本支部ピアノ科

後援 松本市 松本市教育委員会 SBC信越放送 テレビ松本ケーブルビジョン 信濃毎日新聞社 市民タイムス
松本平タウン情報 週刊まつもと 財団法人日本ユニセフ協会

協賛 カワイピアノ

お問合せ (社)才能教育研究会 松本支部 TEL.0263-32-1611

世界には、 子どもの数だけ 夢がある。



ユニセフ募金に、ご協力ください。

ユニセフは、世界150以上の国と地域で、教育、保健、栄養、水と衛生、保護、緊急救援など子どもたちの命と健やかな成長を守る活動に取り組んでいます。こうしたユニセフの活動は、皆さまの募金に支えられています。

郵便局から 振替口座 00190-5-31000 口座名義 財団法人日本ユニセフ協会

※窓口で取り扱いは、手数料が免除になります。

お電話で  0120-88-1052
(9:00~18:00、土日祝休)



Webで <http://www.unicef.or.jp>

